

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立大野小学校(兵庫県)【指定校】

【取組内容】 自立した学習者になるための情報活用能力の育成

【概要】今年度本校では、「自分にぴったりの学び方をみにつけよう！～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実～」を研究テーマに、授業改善に取り組んでいます。その中で、児童一人ひとりが自立した学習者となるために必要な情報活用能力の育成に関する実践を2つ紹介します。

実践①探求のサイクルを活用し自ら学ぶ児童の育成



自立した学習者の育成



↖ 探求のサイクル
 ↑ 自立した学習者
 ← 学習の手引き (Google Classroom)

実践②児童会主催
タイピングコンテスト

実践①では、全学年で探求のサイクル・学習の手引きを活用し、情報活用能力の育成に努めています。

実践②では児童会主催の大野小タイピングコンテストを開催しました。タイピングサイトを利用し、3分間で何文字タイピングできるのかを学年内で競う取組です。児童は休み時間等を活用し、コンテストに向けて練習をしていました。

ちやれんじみっしょん②のぼめの「おすすめポイント」をさがそう！

めあて①：おはなしを しっかりよむ。

めあて②：ぼめんわけを する。

めあて③：「ふしぎ」をかいけつする。

★めあて④：「おすすめポイント」ランキングをつける。

がくしゅうのプロセス

①やることのかくにん...【クラスルーム】

②じょうほうを あつめる...きょうかじょうから 「おすすめポイント」を見つかる。【きょうかじょう】
 とまだちに せつめいしたり きいたりする。【きょうかじょう】

③じょうほうをせりする...みんなで「おすすめポイント」をあつめる。
 なんに見つかかな？

④まとめ・ひょうげん...「②のぼめの おすすめポイントは、①～ ②～ ③～」と かく【ノート】

⑤ふりかえり...ふりかえり【ノート】